☆☆　新型コロナウイルス感染症ニュース　第 100 号　2022.1.4　☆☆

会長からのメッセージ

新型コロナウイルス感染症ニュースが第１００号を迎えます。この予測困難な新規感染症に対しては正しい情報の伝達や共有が何よりも重要です。編集長の福壽岳雄理事を始め、執行部役員すべてが関わって毎週の発行を積み重ねてまいりました。

これからも第 6 波（以降）の感染状況やワクチン追加接種、小児接種、薬剤情報などに関し、up to date の情報をお伝えいたします。会員の皆様におかれましては毎週の更新情報のチェックをぜひお願いいたします。

（安藤健二郎）

ワクチン接種について

1・2 回目の接種について、仙台市ホームページ、12 月 22 日時点の VRS に登録された数値によると全体の接種率で 1 回目が 87.1%に、2 回目が 86.3%になりました。年代別で最も高いのが 70 代以上で 1 回目が 96.5%、2 回目が 96.0%であり、最も低いのが 10 代で 1 回目が 78.3%、2 回目が 67.4%でした。

3 回目（追加）接種は主に医療従事者を対象に 12 月から始まっておりますが、今後の接種券は当初の 8 ヶ月以降接種の予定が前倒しされて 1 月 14 日に R3 年 6 月末までに 2 回目の接種が完了した方、1 月 31 日に R3 年 7 月末までに 2 回目の接種が完了した方に発送されます。個別接種医療機関には市民に接種券が届く**1 月 17 日、2 月 1 日以降に接種のお問い合わせが集中**することが予想されます。大変なご負担をおかけすることになると思われますが、ご対応ご検討をお願いいたします。

必要なワクチンについて、1 月中に各医療機関さまに移送されるワクチンは**すべてファイザー社製ワクチン**になります。当初、12 月 10 日付で 5 月末までに 2 回目接種が完了した方を前提に希望量調査が行われ、すでに 12 月末に各医療機関さまに移送通知書が届けられていると思います。上記前倒しに伴う**追加で必要となるワクチン**は 12 月 22 日付で追加調査が行われ、1 月 6 日目途で**移送通知書が届けられる**予定です。しかしながら、仙台市における現在の在庫保有数と今後の配分予定数量を加味すると、今後、ご希望いただいている数量どおりにファイザー社製ワクチンをお届けするのは困難な状況とのことです。各医療機関さまにおかれましても、接種予約をとられる際に十分ご配慮願います。なお 2 月以降の必要量については、ファイザー社製、モデルナ社製についても来週中には調査票が送られますので、引き続き、ご対応のほどよろしくお願いします。

集団接種は**2 回目までと同様**の市民センター等の会場で、**2 月以降の土曜・日曜・一部の祝日**に実施予定で、**予約は 1 月 22 日（土）8 時 30 分から**電話（コールセンター）またはインターネットで行われます。ＴＫＰではファイザー社製、その他の会場ではモデルナ社製ワクチンが使用されます。

その他、宮城県が開設している**東北大学ワクチン接種センター（大規模接種）も 1 月 14 日からはヨドバシ仙台第２ビル 4 階に会場を移して接種予定**（詳細は調整中）であり、予約は R3 年 12 月 13 日から開始されています。ワクチンは R3 年 12 月 29 日からモデルナ社製のものが使用されています。集団接種、個別接種に比べて接種能力に余裕があると見込まれるため、ファイザー社製ワクチンの不足等により各医療機関さまで対応できない接種希望者がいた場合には、大規模会場をご案内いただくことが想定されます。

（CVPT；福壽岳雄）

ワクチンの接種ミス防止について

新型コロナウイルスワクチンのみならず、インフルエンザ、その他のワクチンの接種が必要とされる中、特にワクチンの取り扱いに注意が必要です。新型コロナウイルスワクチンは種類によってバイアルの**「キャップの色やサイズ」「針、シリンジ、シール等の付属品」「移送温度や保管温度・期限」が異なります**。医療機関では複数のワクチンを使用する際に、「ワクチンごとに**接種日時や場所を分ける**」「**容器・管理を**

明確に分ける」「**接種関連器具・物品を区分し責任者・担当者**を置く」ことが求められております。

特に新型コロナウイルスワクチンは種類ごとに**製造後の有効期限**に加え、通常**冷凍、冷蔵、常温、バイアル開封（シリンジ吸い上げ）後の保存期間**も細かく定められており、取り扱いに細心の注意を要求されます。既に十分ご留意いただいているとは思いますが、今一度のご確認をお願いいたします。なお、万が一、**ワクチン接種後に健康被害が生じた場合は、仮に間違い接種により生じた場合でも状況によっては国の予防接種健康被害救済制度対象となる場合があります**。

（CVPT；福壽岳雄）

経口抗ウイルス薬「モヌルピラビル」（ラゲブリオ®カプセル 200mg）について）

経口抗ウイルス薬「モルヌピラビル」（販売名：**ラゲブリオ**®カプセル 200mg）は、**令和 3 年 12 月 24 日に新型コロナウイルス感染症の治療薬として特例承認**されました。現状では**一般流通は行わず**、当面の間、**厚生労働省が所有した上で、本剤を配分**することとなります。対象となる患者が発生、又は発生が見込まれる**医療機関及び都道府県のリストに掲載された対応薬局**からの依頼に基づき、**無償で譲渡**されます。

開業医院など**処方だけを行う医療機関**においても、厚生労働省が委託する製造販売業者（**MSD 株式会社**）が開設する**「ラゲブリオ登録センター」への登録が必要**となります。医療機関は MSD 株式会社のホームページ**「MSD Connect（医療関係者向けサイト）」**（https://www.msdconnect.jp/）よりアクセスすることで登録可能で、その後登録メールアドレス宛に送られてくる案内に基づき 30 分の Web 講習を受講する必要があります。**投薬の方法**は、投与対象となりうる患者が発生した際、医療機関において**処方箋**とともに**適格性情報や同意書取得等についてのチェックリストを対応薬局に FAX 等で送付**し、受け取った**対応薬局が患者の居所に本剤を配送又は持参**することを原則とします。処方箋原本とチェックリスト原本は、後日対応薬局に送付することになります。

実際に開業医院等で処方を行うのは、今のところ自宅療養等の場合に限られると思われます。現状で発表されている**仙台市内**のラゲブリオ対応可能な**薬局は 1 か所**だけであり、今後については MSD 社にお問い合わせいただく必要があります。　（福壽岳雄）

ニュース部、ワクチン担当チームより　（100 号担当　福壽岳雄）

年末年始は懸念された第 6 波にこそ見舞われなかったものの、オミクロン株もデルタ株も感染者数は徐々に増加しつつあります。新型コロナウイルス感染症ニュースも、まだまだ終息が見えないままに 100 号になってしまいました。今年こそワクチン・治療薬の効果に期待し、ウイルスの弱毒化も願いつつ市民の命と健康を守るために、仙台市医師会一丸となって努力を続けたいと思います。

仙台市医師会へのご意見・ご質問等は FAX、メールでお願いいたします。

FAX：022-267-5193　　メール：sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp